

2022年度(令和4年度)

福山市生涯学習活動費補助金

補助金交付団体 活動報告集

人権・生涯学習課

福山市生涯学習活動費補助金交付団体の活動を紹介します

2022年度（令和4年度）に、補助金交付団体として決定した10団体の8月～12月の活動を紹介します。

ページ	団体名
1	蒼の会（書を学ぶ会）
2	戸手版画を楽しむ会
3	生花サークル晶の会
4	美友会
5	ほおずきの会
6	京鹿子福山千田句会
7	楽しく歌おう はぐコーラス
8	福山ファミリーヨットクラブ
9	びんごアート研究会
10	海のみえる合唱教室

蒼の会（書を学ぶ会）

（１）団体紹介

書を学ぶと共に、会員同士が親睦を深めることを目的に活動しています。会員の年齢に幅があるので、日常では話をすることのない方とも対話のできる場となっています。

（２）活動概要

書の練習、地域の文化祭への作品の出展など

活動日：毎月第2，4月曜日

活動場所：片山集会所（神辺町）

（３）活動紹介 ※補助対象期間中 2022.12 までの1事例

日時：2022年（令和4年）11月28日（月）13：30～15：30

場所：片山集会所（神辺町）

内容：書の練習



感想等

蒼の会では、地域で開催される芸術文化祭に作品を出展するため、約3か月前から、自分の好きな言葉や文字を選び練習を行います。額装し展示されることで、書道への学習意欲も高まります。文化祭を見に来られたのがきっかけで、新たに加入された方もいます。

文化祭が終了してすぐの練習日のこの日は、来年の年賀状の練習をされていました。講師の書いたお手本を参考として、みなさん集中して取り組まれていました。

メンバーの書道経験は、小中学校の授業だけの方、子どもの頃に習っていた方、大人になっても習い続けていた方など様々です。いつからでも楽しく書道を学ぶことができる「蒼の会」の活動です。

会員のみなさんからは、「年齢層も幅広く、みなさんと楽しく交流できるので楽しい。「蒼の会の活動を通じて地域活動にも関わりを持つようになりました。」などの声が聞かれました。

戸手版画を楽しむ会

(1) 団体紹介

版画制作を通じて人との出あいにより健康の維持につながっています。小学校から依頼があれば小学生たちに版画の楽しさを伝えていき、素直な発想を引き出し、感性を育てていくための支援をしています。毎年、年賀状を制作したり、地域行事にも参加しています。成果発表の場として希望者は、福山市美術展覧会、日本版画会展などに出品しています。

(2) 活動概要

版画の制作、福山市美術展覧会や日本版画会展へ作品を出品

活動日：毎月第4火曜日

活動場所：戸手公民館

(3) 活動紹介 ※補助対象期間中 2022.12 までの1事例

日時：2022年（令和4年）11月22日（火）10:00～12:00

場所：戸手公民館 図書館

内容：年賀状用の作品の制作



感想等

この日は、毎月1回の活動日で、毎年この時期は、みなさん年賀状用の作品に取り組みます。まず、下絵をトレーシングペーパーで写し、板に転写します。その後は、いよいよ彫りとなります。彫りの作業は、1日では終わりません。何版も彫り、それらに色を付けて、何回も紙をのせ、1枚の年賀状は完成します。会員のみなさんは、月に1度のこの活動日に、よりよい作品となるよう、お互いの作品を見ながら、お互いにアドバイスをしながら、作品を作り上げていくそうです。

戸手版画を楽しむ会の活動は、版画の制作を通して地域の方たちの交流の場になっていると感じました。

会員のみなさんからは、「彫ることがとにかく楽しい。」「完成に1年掛かる作品もあるが、完成を楽しみに作れるので、生き甲斐になっている。」などの声が聞かれました。

生花サークル晶の会

(1) 団体紹介

日本には「いけばな」という素晴らしい伝統文化があります。「晶の会」では、このいけばな文化の継承を願って練習を重ねながら、活動の成果の発表できる場を探し、多くの方々に「いけばな」に接してもらいたいという想いで活動しています。

(2) 活動概要

四季折々のお花を生け、技術や知識を学ぶ

また、地域行事などで展示することで、いけばな文化を広める

活動日：毎月第1，3金曜日

活動場所：伊勢丘交流館など

(3) 活動紹介 ※補助対象期間中 2022.12 までの1事例

日時：2022年（令和4年）9月2日（金）9：00～12：00

場所：伊勢丘交流館 交流コーナー

内容：伊勢丘交流館展示用の合作の製作



感想等

この日の活動では、これまで活動の場としていた伊勢丘公民館が閉館し、新たに開館した伊勢丘交流館の落成式で披露するための合作を作成されました。

7月から、メンバーで展示場所や作品のサイズなどの打合せを行い、下生けを行いながら、どんな作品にするか考えました。

完成した作品は、伊勢丘交流館の交流コーナーの一角に展示され、落成式で多くの方に披露でき、たくさんの声をいただくことが出来ました。また、SNSにも作品の写真をアップするなど、積極的に情報を発信されています。

会員のみなさんからは、「メンバーが自分の役割を着々とこなし、連携もスムーズに行い、良い作品作りにつなげることができた。作品を多くの方々に見ていただき、お褒めの言葉などもいただけてうれしく思った。今後も学習の成果を発信し続けていきたいと思う。」などの声が聞かれました。

美友会

(1) 団体紹介

油彩画を描くことが好きな人が集まり、絵画技術の向上をめざすだけでなく、趣味の絵画を通じて、会員同士の人間関係を深めることを目的としています。

(2) 活動概要

油彩画の制作、ふくやま美術館ホールなどで展覧会を実施

活動日：毎月第2，4，5金曜日

活動場所：ふくやま美術館2階 デッサン室

(3) 活動紹介 ※補助対象期間中 2022.12 までの1事例

日時：2022年（令和4年）8月26日（金）9：00～17：00

場所：ふくやま美術館2階 デッサン室

内容：油彩画制作



感想等

この日は、定例の活動日で、10月に予定する展覧会に出品する油彩画の制作を中心に、約10人のメンバーがそれぞれのキャンバスに筆を走らせます。

9時からの活動時間に、60代から80代のメンバーが三々五々集まり、風景、人物、静物など様々な絵をそれぞれのペースで描きます。

メンバーは、子育てを終えて改めて絵画制作を再開した方、退職後の趣味として油彩画を描き始めた方など、経歴は様々ですが、和気あいあいとそれぞれの絵を、互いにアドバイスをしあいながら描きます。

活動歴14年の80代の会員からは、「自宅で描くだけでなく、メンバーと同じ場所でキャンバスに向かうことで、自分も頑張ろうという気持ちになれる。公募展等で賞をいただけるようになると、もっと頑張ろうと向上心が高まる。」との声が聞かれました。

世代を超えて互いに切磋琢磨しながら取り組む美友会の活動は、今後も活動の輪が広がっていきそうです。

ほおずきの会

(1) 団体紹介

木目込み人形，押し絵制作を通して，日本の伝統工芸の技術を学び，良さを地域の人に広めます。手先の運動にもなり，老化防止にもなります。制作時には会話も弾み交流を図っています。また，文化祭等に参加し地域との連携・交流も深めています。

(2) 活動概要

木目込み人形，押し絵の制作及び交流館や地域における講座の指導の手伝い

活動日：毎月第4水曜日

活動場所：水呑交流館

(3) 活動紹介 ※補助対象期間中 2022.12 までの1事例

日時：2022年（令和4年）11月9日（水）13：30～14：10

場所：水呑交流館

内容：地域における「干支の押し絵教室」



感想等

この日は，普段活動している水呑交流館で，「干支の押し絵教室」に指導者として，団体から3人が参加し，10人の参加者に押し絵の指導をしました。

3人のメンバーは，参加者一人ひとりの進捗状況に応じた丁寧なアドバイスを行います。教室は，地元の水呑学区の情報が行き交うアットホームな雰囲気です，参加者もとても楽しそうにされている様子でした。

教室に指導者として参加されていた会員のみなさんからは，「歳を取ると，細かな作業は難しくなるけど，手先を使うことで認知症対策にもなる。月に一度集まるのが楽しみで，私の居場所です。」という声も聞かれ，ほおずきの会は，メンバーにとって，地域で活躍できる「出番づくりと生きがい」となり，生涯学習による地域づくりに貢献していると感じました。

京鹿子福山千田句会

(1) 団体紹介

自然と人間の関わりを俳句に詠むことによって、文芸性の確立や脳健康寿命を延ばすことを目的に活動しています。普段は、勉強会に詠んだ俳句を持ち寄ってお互い評価し合い、講師の教えをもとに高みをめざしています。

(2) 活動概要

俳句教室、ばら祭俳句大会、野々口立圃俳句大会などに作品を出句

活動日：毎月第4火曜日

活動場所：市民参画センター

(3) 活動紹介 ※補助対象期間中 2022.12 までの1事例

日時：2022年10月25日（火）13:30～15:30

場所：福山市市民参画センター

内容：俳句教室



感想等

この日は、毎月1回の俳句教室の日で、集まったメンバーは、まず、出されていたお題に沿って、考えてきた俳句を清記用紙に記入します。その後、各々、集まった俳句の中から、一押しの作品を選び、その句を読み上げていきます。そして先生が、「入選」「特選」を決め、その作品をどんな思いで作ったかなどを発表し、参加者からの質問に答えたり、講師の添削を受けました。

今はテレビ番組の影響で俳句を作る人が増えてきたこともあり、参加者は一つの俳句を生み出す喜びや苦労などを共有でき、ゆったりとした空間の中で素敵な時間を過ごされていました。コロナ禍で気持ちが沈みがちで外に出ることが億劫になっていた人の背中を押すようなあったかい空間になっていました。

会員のみなさんからは、「ひとつひとつの句に込められた情景や、作者の思いを参加者みんなで考え、いろんなイメージを広げていくことが楽しい。」「参加者同士のつながりがもてました。」などの声が聞かれました。

楽しく歌おう はぐコーラス

(1) 団体紹介

シニア世代の一人ひとりが健康的な身体を保持していく為に、地域の仲間と交流し、お互いを思いやり、助け合い、歌と笑いを通して活力あるまちづくりに寄与することを目的とし活動している。

(2) 活動概要

月1回の定例会のほか、小学生との交流や高齢者施設への出前講座などを随時実施

活動日：毎月第4水曜日

活動場所：戸手公民館など

(3) 活動紹介 ※補助対象期間中 2022.12 までの1事例

日時：2022年（令和4年）8月24日（水）13：30～15：30

場所：戸手公民館

内容：定期活動日（第4水曜日）



感想等

この日は、毎月1回の定期活動日で、60代から90代のメンバー16人が参加し、およそ2カ月後にある地域の祭りで披露する歌の練習をしました。

講師の「少々間違えても大丈夫。声をしっかり出してスッキリすること、楽しむことが大切！」との励ましを受け、参加者は、はっきりと発声するよう目を大きく見開き、体を揺らしながら、マスク越しの声を重ねました。

メンバーの体力も考慮し、椅子に座り練習することや歌に合わせて体を動かしたり、ハンドベルの演奏をしたり、メンバー全員が楽しめる活動に取り組んでいます。

今後は、誰でも活動を体験できる音楽療法の講座を開催し、体験を通じて新メンバーを募る予定です。また、ハンドベルの演奏などの新しい表現方法を取り入れるなかで、活動の幅が広がっており、今後の活躍が楽しみです。

福山ファミリーヨットクラブ

(1) 団体紹介

「福山ファミリーヨットクラブ」は、競技としてレースに参加するだけでなく、レディースチームの育成や子どもたちへの体験会なども実施することで、ヨットライフ人口の増加を目的に活動しています。

(2) 活動概要

年2回のクルージングと毎年のレディースチームの練習、ヨットレースへの参加、少年体験クルージングや島しょ部の清掃等

活動日：毎月第3土曜日（定例会）

活動場所：広島県東部地区海上（福山ボートパーク係留）

(3) 活動紹介 ※補助対象期間中 2022.12 までの1事例

日時：2022年（令和4年）9月4日（日）8：30～11：30

場所：山根木材ボートパーク福山及び海上

内容：レディースチーム練習



感想等

この日は、レディースチーム5人と男性メンバー3人の8人の参加で、ヨットは広い沖に出るまでは、モーターで進みます。その間、メンバーは練習の計画、周囲や装備の確認を行い、沖に出るとエンジンを停止し、周囲の安全を確認し、帆を上げます。レディースチームのメンバーは、ベテランの男性メンバーの見守るなか、チームワークよく、テキパキと帆を上げていきます。あっという間に帆が上がると大きく風を受けた帆は大きく膨らみ、勢いよく進んでいきます。風を受けて大きく傾くヨットにも、みなさん動じることなくヨットを操り、あっという間に、この日の練習を終えてボートパークに戻りました。

メンバーからは、「海を見ながらの活動は最高でした。今後とも、チームワークを大切に、活動の充実を図り、海やヨットに興味を持つ仲間を増やしていきたいです。」「今後も、子どもの体験クルージングや砂浜清掃等の取組を通じて、地域貢献へも繋げていきたいです。」などの声が聞かれました。

びんごアート研究会

(1) 団体紹介

アート教室（陶芸や木工）の開催等を通して、子どもたちの多様な表現力と豊かな感性、情操を伸ばすことにより、これからの芸術文化の向上に寄与することを目的として活動しています。

(2) 活動概要

アート教室、作品展、指導者講習など

活動日：毎月第2土曜日（定例会）、その他アート教室や作品展などを随時開催

活動場所：駅家公民館、駅家北小学校

(3) 活動紹介 ※補助対象期間中 2022.12 までの1事例

日時：2022年（令和4年）9月10日（土）13:00～15:30

場所：駅家公民館2階 第一学習室

内容：アート教室【陶芸】3回目 色付け～完成



感想等

この日は、陶芸の3回目のアート教室で全3回の日程で完成をめざします。参加者は、1年生～6年生の児童38人で、1、2回目で形を作り、素焼きをした作品に色付けをします。色付けのコツは、色を薄く延ばして塗ることだそうで、会のメンバーが指導者となり、子どもたちに指導をされていました。会のメンバーは、子どもたちへ指導するために、自分たちも実際に作品を作り、どう教えると分かりやすいか考えたそうです。その甲斐もあり、子どもたちも真剣に取り組み、次々と色付けを完成させていきます。この後、色を付けた作品を焼き上げ、完成となります。

会員のみなさんからは、「年々、口コミで参加者が増えて大変だが、子ども達が集中して作品を作っており、やりがいがある。」「子どもたちが思ったより集中して取り組んでおり、熱心に作品の説明をしてくれるのが嬉しい。」などの声が聞かれました。

海のみえる合唱教室

(1) 団体紹介

能登原の美しい自然のなかで多くの人が集い、誰もが同じ条件で取り組むことができる合唱を通じ、美しい日本語の唱歌を継承していくことを目的としています。講師に声楽家を招き、普段触れることの少ないプロの声を聞きます。

(2) 活動概要

毎月の合唱教室、地域の行事などへの参加（随時）

活動日：毎月第2日曜日 ※変更の場合有

活動場所：福山市能登原公民館

(3) 活動紹介 ※補助対象期間中 2022.12 までの1事例

日時：2022年（令和4年）10月30日（日）10:00～12:30

場所：能登原公民館

内容：合唱教室&お菓子ラリー



感想等

この日は、ハロウィンのイベントとして企画した「合唱教室&お菓子ラリー」の実施日でした。10人程度の参加を想定されていたそうですが、保護者も含めて約60人の参加があり、予想を大きく上回る反響に驚かれたそうです。

子どもたちは、渡された地図を頼りに、決められた家に行くと、「トリックオアトリート」と声を掛け、お菓子を貰うと、嬉しそうに次の家をめざします。

お菓子ラリーが終わると次はいよいよ合唱教室です。初めは、恥ずかしさからか、あまり声の出ていなかった子どもたちも、講師がかけ声で盛り上げると、次第に会場に歌声が響きだしました。地域の方も、普段子どもの少ない地域で、たくさんの子どもの声が聞け、とても嬉しそうでした。

会員のみなさんからは、「過疎化の進む能登原の地域が少しでも盛り上がり嬉しく思う。これをきっかけに、合唱を好きになってくれる子どもがいると何よりです。」との声が聞かれました。